

# 船坂新聞

2012. 8. 4 第47号

発行：船坂新聞倶楽部

## 幼い子どもと盆踊り もうすぐ8月15日

船坂の盆踊りの日が近づいてきました。今年、船坂音頭保存会に小桜幸一さんが新たに加入され、船坂音頭継承の道筋がまた一つ明るくなりました。

盆踊り・夏祭りとなると、やはり幼いときの記憶がよみがえる人も多いと思います。

普段着たことのない浴衣を着せてもらい、めったに出ない夜の街に連れられ、色とりどりで賑やかな屋台とその先に櫓を中心に大人たちが集い踊っている姿は、普段見慣れた街の風景とは全く違う、日常から遠くかけ離れたまさに別世界の輝きを放っていたのではないのでしょうか。

船坂の盆踊りは規模は小さいけれど、船坂の自然が生み出す闇の中ゆえにいつそう明るく浮かび上がる盆踊り会場がその姿をあらわしてきた時、幼い子どもたちの心には今まで目にしたことのない別世界の期待と興奮が生まれるかもしれません。

そんな船坂盆踊り。幼いお子さんお孫さんと一緒に、いちど会場に足を運んでみませんか？

(中西 学)

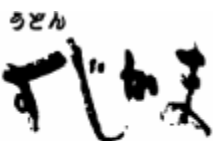


船坂音頭の練習をする小桜幸一さん 右端

## ビエンナーレが動き始めました

10月21日から5週間開催される西宮船坂ビエンナーレ2012がいよいよ動き始めました。

- 8月4日(土)5日(日)のワークショップ(絆のドローイングと風鈴づくり)には、多数の子どもたちと保護者から予約がありました。幸幼稚園からはバスを仕立てて60名もの幼児が参加されました。両日とも午後には、観光キャラクター「みやたん」も来てくれました。作られた作品は、ビエンナーレ本番で木造校舎に展示される予定です。
- 作家さんたちが、ぼちぼち船坂入りを始めました。中国からフォンさん親子3人が8/15まで来られています。国内作家3人 後藤、黛、中村さんも、ホームステイをしながら作品制作を始められます。
- 加工品グループでは、ビエンナーレで販売実験をしようと試作品を創っておられます。(4頁に詳細)
- 趣味の作品展のメンバーは、1人1点という制約のもと、ビエンナーレに向けて作品を制作中です。
- 陶芸クラブのメンバーは、すでに「灯り」をテーマとする 陶芸作品を作り上げ、展示を待っています。
- 協賛金も続々と集まりつつあります。2010年を上回る額を目標に取り組みられています。
- 船坂地域内ボランティアの募集も着々と進み始め、山口方面からもボランティアの申し出が。



〒651-1423 西宮市山口町船坂  
字北山イカ2178-23  
TEL 078-904-2661



西洋料理/船坂  
西宮市山口町船坂字北谷216番地  
Tel/Fax 078-903-1158  
<http://www.seiyoryori-funasaki.com/>  
HPに最新情報を掲載しています



ガレージ&カフェ ベニーレーン  
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206  
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340  
<http://www.penny-lane.jp/>



船坂数珠つなぎ

7代続いて男1人の家系

●今回は、坂本 茂さんにご登場願いました。  
――坂本さんはとてもお元気ですが、おいくつになられました？

昭和18年生まれで69歳になった。中学の同窓生12人  
おったけど、今船坂におけるのは3人や。

――坂本さんの中学時代の船坂って、どんな感じだったん  
ですか？

そやな、当時は、船坂信号から善照寺に入るとこまでの間、県道が無かったの  
で、有馬行きの阪急バスが船坂信号を左折してワシの家の前を通り、JA前  
の一方通行を回って有馬へ走りよった。道が細かったんで、対向車が来たらど  
っちかが交わせる所までバックせんといかんかったの、よう渋滞しよった。  
祖父も親父も寒天屋しとったので寒天作りもみてたで。

――トランペットをされてたとか？

中学の授業でトランペットを触らせてもらったんがきっかけで、トランペット  
が大好きになったんや。山口中にブラバン部がなかったの、日曜日毎にバスと  
電車に乗って2年間、今津中へ通ったんや。今津中の顧問は、有名な得津先  
生やった。そやからワシは、山口中ブラバンの1期生なんやで。

――そのトランペットを生かしてお仕事をされていたと聞きましたが・・・。

世界長に勤めとったとき、山口中顧問の南先生に勧められて、オープンしたて  
の「奈良ドリームランド」の音楽隊に入ったんや。毎日2〜3回、園内をパレ  
ードしたもんや。そら、音楽隊はもてたで、年間下宿したけど、ワシ長男  
やったんで、親父から「早よ帰って来い」としつこく言われ、しまいには  
「これで通え。お前のおもちゃは高こつくな。」とパブリカの新車買って持  
ってこられたんや。1人息子の長男として仕方ない思うて船坂へ戻った。

――それからはパブリカで通勤されたんですね？

しばらく通勤した。そいで、日曜日毎に奈良へ車でデートに行ってた。それが  
今の嫁はんや。

そんな時、義兄が「大工せえ、大工せえ」と言うんで、あまりやりたくなかつ  
たけど、祖父も大工しとったんで仕方なくすることにしたんや。

――JAふれあい会館の「趣味の作品展」に立派な水車小屋や東京タワーを出  
展されてましたね。

ワシ大工やったから、普通の材料でつくったら早よ出来てしまうので、金使  
わんと頭ボケンように割り箸やマッチ棒使ってわざと時間かけて造ったん  
や。図面なんか書かへん。頭の中で考えて造ってるんや。

――お孫さんが大勢おられるそうですね。

そや。10歳で結婚し、18歳で初孫抱いたんや。子どもは10人やけど、孫が  
8人できた。うちは、7代続いて男が、人しか生まれへん家系やねん。祖父、  
父、ワシ、息子、孫どの代も男は長男一人だけや。

――これからの夢はなんですか？

夢なんてあらへん。今は、畑作業と孫たちのアッシー君してるんや。時々、  
一方通行の交通整理で立ってることあるけど。まあ、のんびり暮しとんねん。  
(インタビュアー：黒木、池田)



孫の実麻ちゃん左と坂本 茂さん

創業昭和八年  
**北福豊店**  
西宮市山口町船坂702

 **セブン-イレブン**  
西宮船坂店

知る人ぞ知る隠れ家レストラン



美しの森のガーデンカフェレストラン Alice  
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626  
TEL 078 (904) 2603  
パースデーケーキをお宅までお届けします。  
(山口町内 無料配達いたします。)

TEL 078-904-2660

〒651-1423 西宮市山口町船坂419  
電話 078(903)1090



## 船坂民話採編(8) 『茄子のたたりという話』

与志朗

シンシンと雪の降る夜のことじゃった、一入の老へが表の戸を叩きました。「有馬に行く途中でずがこの吹雪にありました。一晚泊めて下さらんか」人のよいお百姓の弥太八は気軽に承知し中に入れ、いろいろばたに招きました。

赤々と燃えるいろり端でドブ酒を飲みながら老人はこんな話しをしました。「私は丹波の山村に住んでいました。田地は少なく、木を切ったり、炭を焼いたりして細々と生活をしていました。そこで、この地でよく育つ作物がないかと妻子と別れ、各地を尋ね歩くことにしました。国を出てから十九年目でしょうか、出羽の国へ来たとき、丹波より高地で、気候も不順なのに特産物の茄子をつくり、豊かな生活をしている村に行き着きました。寒い土地でも育つ茄子をつくりだしていたからです。私は自分の村が貧乏で困っていることを話し、弟子にしてもらいました。何年も何年も苦勞し、改良に改良を重ねて作り上げられた茄子でした。どんな土地でも見事に育ち、収穫が多いうえに味もよく、まさに天下一品の茄子でした。各地から分けてくれと申し込んできますが、その種は村の外に持ち出さないきまりでした。しかし、私の熱意が通じたのか大事な種を数十粒頂きました。村へ持ち帰ろうとして、帰りを急ぐ途中なのです。明日は有馬温泉で旅の疲れをとって帰る予定です」と語り終えると老人は眠りこんでしまいました。弥太八は老人の話しに胸を打たれましたが、この船坂も高地で田畑も少なく農作物がよく育たず生活は貧しい。「この茄子を栽培すれば村は豊かになるだろう」と弥太八はいけないことだと思いつつ、老人のふところから種の包みを取り出し、僅か数十粒しかないその半分を普通の種にすり替えました。翌日、そんなことを知らない老人は深く感謝して出て行きました。しばらくして、「村外れで、旅の老人が山賊に殺されたらしい。丹波の人らしい」という噂を弥太八は聞きました。驚いて駆け付けると、前の晩の老人が血まみれで倒れていました。取り繕ると老人は「大切な種を奪われた。残念じゃ。あの茄子を栽培する者にたたってやる。」と叫んで息を引き取りました。弥太八は老人を手厚く葬りました。数年後、この種を栽培して「船坂の長茄子」と呼ばれる茄子の名産地になり、村人の暮らしも豊かになりました。ところがこの頃から村人たちの歯が黒く染まりだしました。いくら磨いても白くならず、歯が腐ったようになります。しまいにはボロボロになってしまう。弥太八だけがその原因を知っていました。あの老人の恨みのせいだと。老人が死んでから十年目の命日に村人に集まってもらい、一部始終を話し、老人の供養を盛大にしてもらいました。その後、弥太八はその罪を詫言ひ仏門に入るため村を去って行ったということです。そして、村人たちも茄子の栽培を止めたといひます。

【撰陽落穂集巻三】に「長茄子の事。有馬郡船坂村にあり、茄子の形は胡瓜のごとく、長さ七、八寸もあり、色甚だ美しく、この一村に限る。其味ひ佳なる事、市岡茄子、小まつ茄子のおよぶ所にあらず」と書かれています。撰陽落穂集は文化五年(一八〇八)に書かれていますから江戸時代の話しです。

六甲の山々に雨が降り、又山々から湧きでる水は多くの谷川となって四方に流れます。

表六甲の伏流水は六甲のミネラルと炭酸を含み海岸近くで適當の塩分とまざって灘の酒造に欠かせない宮水となります。しかし同じ六甲山系の地表近くの水の中にはフッ素イオンの多量に含まれている土地があり、これを飲料としている土地の人々の歯のホーロー質をおかして俗にいうなすび歯(斑状歯)の原因となります。この川水を直接使用していた船坂地区は特に大きな影響を受けました。なすび歯は乳歯には少なく永久歯に多くあらわれ特に九歳から十二歳の子供に著しく発生します。女性に被害が多く、若い娘が結婚してまもなく総入れ歯になったという話もあります。昭和二十三年京大の平田博士の調査により、フッ素含有量が限界値の二倍もあることが分かりました。昭和三十二年に市営水道が敷設され、その心配はなくなりました。

しかし、昔の人々にとっては一つの不思議であり、「何かのたたり」と考えたのも自然の理かも知れません。



こばこベジ

〒662-0978 西宮市産所町3-24  
OKKO陶芸工房2F  
TEL&FAX 0798-26-3618  
e-mail kobako.design831@gmail.com

Daddy's Bakery



〒651-7423 西宮市山門町船坂90  
TEL: 078-907-3520

Kawahara Kobo



株式会社河原工房  
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1  
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587  
URL <http://www.onioikatachini.jp>  
e-mail info@onioikatachini.jp



# 加工品グループ

## 船坂に新たな名産品を！

旧船坂小管理運営委員会から誕生した「加工品グループ（代表：古藪優子。主婦中心の会員10数名）」では、手作り加工品を創って、新たな船坂名産に発展させたいと意欲的な取り組みを始めています。

野菜・果物を船坂の生産者から購入し、それを手作り無添加で加工し、ビエンナーレを利用して商品化し、街の人々に販路を広げていこうという取り組みです。そのため、旧船坂小調理室での加工品づくりは、ランチ営業と共に保健所から営業許可を受けています。

すでに、いちご、梅、ぐみのジャムを作り、今後は、こんにやく、ブルーベリージャムも作って、今秋のビエンナーレで販売実験を行おうと準備を進めています。



7月18日には、田中さんご夫妻を講師に、船坂で収穫したこんにやく芋を使ったこんにやく作りを6人で実習しました。先生のおかげで、みんな楽しく、美味しいこんにやくが出来上がりました。各自持ち帰り、さしみにしたり田楽にしたりそれぞれに美味しくいただいたようです。



作るということだけでなくみんなと楽しく出来るのがいいですね。興味のある方は是日参加してください。申し込みは管理運営委員会まで。

リーダー古藪さん(右から3人目)を中心に 新たな名産品づくりを目指す加工食品グループのメンバーたち

### <船坂コミュニティルーム>

- 8月12日（日）～15日（水）の間は休館します。
- 8月のランチ、カフェ、歌声、映画は夏休みをいただきます。
- 9月のランチなどは9/9（日）と9/23（日）です。お楽しみに。

4	5	8	12	14	15	19	21	25	26	30	31	(9月)	8	9
土	日	水			水	日	火				金			日
自治会定例会 ワークショップ	ワークショップ	コミセン運営委員会		陶芸クラブ	船坂盆踊り	ちびっ子広場 農地農業考える会 ビエンナーレ役員会	船坂新聞編集委員会	陶芸クラブ	ベルグコンサート	そば種まき	学校跡検討委員会	趣味作品展搬出搬入	自治会定例会	ランチ・歌声カフェ

### <編集者のつぶやき>

○今朝、トンビ?とカラスがけんかを空高いところで見ました。1対3でトンビらしき鳥はそそくさと山のかなたに逃げていくのが見えました。派閥あらそいだったんでしょうか?なんの世界でも1対1でなく数の多いほうが強いんでしょうか?昨今、心痛めることご多いですね。仲間意識も大事でしょうが、それによって、心痛めている人が廻りにいるとすることをわかってほしいですね。子供も大人も私自身も。 (黒木 富美子)

○今日も元気だお酒がうまい。年甲斐もなくがんばってます。 (池田 壱和)



株式会社 古材問屋

651-1423 兵庫県西宮市水口町船坂280  
Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319  
http://www.kozoldonya.com

8月25日(土) 6:30

¥3,500



Tel:078-903-1172

要:電話予約



078-904-3843

Tel:078-904-3843 西宮市水口町船坂710-4

藩石のことならお任せください